

加古川市立中央図書館だより

(発行) 加古川市立中央図書館

〒675-0101

加古川市平岡町新在家1224-7

(TEL) 079-425-5200

(FAX) 079-425-6696



ぶっくガーデン

NO.259 - 2024年6月 (URL) <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kakogawa/>

梅雨の季節に読んでみましょう！ - 雨に関する本を集めました -

今年も梅雨の季節を迎える頃になりました。梅雨と一口で言っても雨の多い年や空梅雨でほとんど雨のない年などさまざまです。また、梅雨明け前には豪雨で災害が発生することもあるので注意が必要です。今年はどうな梅雨になるのでしょうか。今月はこの時期におすすめの本をご紹介します。

- ・『「湿気」の日本文化』 神崎 宣武 日本経済新聞社 361.5 -カ
梅雨時から夏の終わりまではジメジメした暑さが続きます。日本の蒸し暑さは世界でもトップクラスの様です。しかしそのような環境の中で、日本人は工夫を凝らして生活してきました。この本では「住まい」、「装い」、「食べもの」の観点から日本人の生活文化を掘り下げています。
- ・「雨 日本の名随筆43」 中村 汀女編 作品社 914.6 -ニ
文化人、著名人の雨に関するエッセイ 48 編を収めています。それぞれの目線で雨についての思い、出来事、情感などについて語っています。
- ・「雨のことは辞典」 倉嶋 厚ほか編著 講談社 451.6 -7
日本の四季は豊かで、その移ろいとともにも雨の様相も千変万化のごとしです。日本人はそのような中で雨に対して様々な言葉を生み出してきました。ここに収録されている雨に関する言葉の数々を読んでいると日本人の感情の豊かさを感じます。
- ・「天空の文学史 雲・雪・風・雨」 鈴木 健一編 三弥井書店 910.2 -テ
昔の人々は雲・雪・風・雨などの自然現象に対してどのように感じ、受け止めたのでしょうか。古典作品を通して、日本人の季節感や美意識をひも解きます。雨については、「平安和歌における『雨』」、「芭蕉の雨」、「近世和歌が詠んだ雨」で取り上げています。
- ・「雨かんむり漢字読本」 円満字 二郎 草思社 821.2 -I
雨かんむりの漢字を例に漢字の成り立ちなどを解き明かそうとしている、真面目で面白いエッセイです。雨、雲、雷、雪などの章に分けていろいろな雨かんむりの本について解説しています。
- ・「雨の景観への招待」 小林 享 彰国社 629.1 -J
雨と言っても、梅雨があり、夕立があり、春雨や五月雨があります。また、雨が降ると私たちは傘をさしたり、雨宿りをしたり、子どもの頃はてるてる坊主を作ったりもしました。この本では日本人がいろいろな雨をとおして作ってきた情感やそれにふさわしい風景、そして文化的な伝統について考えています。例えば「名雨」と言うときにそれはどのような風景であり、情景であり、何がぴったりだと私たちが感じるのか…ということです。
- ・「雨はどのような一生を送るのか」 三隅 良平 ベレ出版 451.6 -ミ
雨はどのようにして降り、そのあとはどうなるのか、ということについて古代の科学者も疑問を持ち、考えてきたようです。なぜ雲はできるのか、雨粒はどのようにしてできるのか、降雨が地面に浸透して、どのような経路で川や海にたどり着き、それがどのように蒸発するのか…雨の一生をやさしく解説しています。
- ・「全国水害地名をゆく」 谷川 彰英 集英社インターナショナル 291.0 -タ
雨は名雨と私たちが感じる一方で、時として牙をむいて豪雨と洪水をもたらします。日本の各地には被害の傷跡を証言する地名が隠れています。この地名にはこんな被害があったのかと改めて驚かされます。日本各地の地名から水害について学ぶことは、防災にも役立つのではないのでしょうか。

■■ 図書館カレンダー ■■

★開館時間 月～土曜日：午前10時～午後8時 日・祝休日：午前10時～午後6時

★休館日 第2・第4月曜日(祝日のときは翌日が休館)、資料整理期間、年末年始(12/29～1/3)

【6月の休館日】 10日(月)、24日(月)

【7月の休館日】 8日(月)、22日(月)

* * 図書館からのお知らせ * *

●レファレンス(調査相談)サービスについて

- ・レファレンスサービスとは皆さまの身近な疑問や調査研究について、図書館の職員が資料や情報について一緒にお調べして回答するサービスです。
- ・「ペットの飼い方」、「漢字の読み方」、「歴史上の人物についての資料」など、身近なものから、特定の主題の文献調査など専門的なことまで、調べているけれどわからないときは図書館の職員までお問合せください。加古川市の図書館でわからないときは、市外の図書館や関係機関に照会をかけたたり、必要に応じて図書館以外の問合せ先についてもご紹介します。
- ・ご質問等は、来館以外でも電話、文書、メール、Web などでも受け付けいたしますので、どうぞご利用ください。(質問内容によっては回答できない場合もあります。)

●電子図書館をご利用ください!

加古川市の図書館の電子書籍をパソコン、タブレット、スマートフォンなどで利用できます。図書館のWeb(ホームページ)より電子図書館のバナーを選択、もしくは下記URLから電子図書館サイトに入り、図書館カードの番号とパスワードでログインすると、電子書籍を読むことができます。

(URL) <https://web.d-library.jp/kakogawa/g0101/top/> もしくは、右のQRコードで。



●青少年読書感想文全国コンクール「課題図書」の予約制限について

課題図書を多くの方に利用していただくために、次のとおり予約等の制限を行います。

- 【制限期間】 6月1日(土)から8月31日(土)まで
- 【制限図書】 課題図書のうち、小学校の低・中・高学年の部の図書
- 【制限内容】 予約、取り置き及び継続貸出(貸出期間延長)ができません。

「時間」に関する本はいかがですか…?

6月10日(月)は「時の記念日」です。これは「671年に天智天皇が漏刻(水時計)を整備して人々に時間を知らせた日である」という言い伝えから記念日とされています。それから1350年余り経ち、現代では時間は当時と比較にならないくらい正確になり、人々の理解やとらえ方も随分と変わりました。

- ・「時間とは何か」 池内了
講談社 421.2-イ
- ・「図説時計の歴史」 有沢 隆
河出書房新社 535.2-ア
- ・「ゾウの時間ネズミの時間」 本川 達雄
中央公論社 481.7-モ
- ・「時間旅行者のための基礎知識」
J・リチャード・ゴット 草思社 421.2-ゴ
- ・「時間の日本史」 佐々木 勝浩ほか
小学館 449.1-ジ
- ・「時間の図鑑」 アダム・ハート=デ ヴァイス
悠書館 421.2-ハ
- ・「タイム・マシン」 H.G.ウェルズ
岩波書店 933-ウ
- ・「時をかける少女」 筒井 康隆
角川書店 F-ツ
- ・「世界を変えた12の時計」 デ ヴァ イット・ルーニ
河出書房新社 449.1-ル
- ・「時間とはなんだろう」 松浦 壮
講談社 421.2-マ



行事のお知らせ(児童)

●親子えほんの会(毎月第1金曜日)

- 【日時】 6月7日(金)
 - ① 10:30~10:45
 - ② 11:00~11:20
- 【対象】 ① 0歳の子どもと保護者
② 1歳から3歳までの子どもと保護者
- 【定員】 各15組(先着順)

◎場所は、すべて「おはなしのへや」です。

●えほんのじかん(毎月第2・4土曜日)

- 【日時】 6月8日、22日(土)
14:00~14:30
- 【対象】 3歳以上の子ども
- 【定員】 30人(先着順)



●おはなし会(毎月第1・3・5土曜日)

- 【日時】 6月1日、15日、29日(土)
14:00~14:30
- 【対象】 4歳以上の子ども
- 【定員】 30人(先着順)